

- 問1 3世紀の日本において、邪馬台国の女王であった卑弥呼は、中国の北部に位置した「魏」という国に使節を送りました。その際、魏の皇帝から授けられた称号として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）
1. 漢委奴国王

2. 遣隋使

3. 征夷大將軍

4. 親魏倭王
- 問2 弥生時代に大陸から稲作が伝わると、収穫のための道具として磨製石器の一種が広く使われるようになりました。中央に2つの小さな穴が開いた半月形の形状をしており、稲の穂先のみを摘み取るために使用されたこの道具の名称を選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 石包丁

2. 尖頭器

3. 磨製石斧

4. 鉄鎌
- 問3 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、銅剣や銅矛、銅鐸などの青銅器は、時代が進むにつれて本来の武器としての役割から変化し、どのような目的で用いられるようになりましたか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
1. 豊作などを祈るための祭りの道具

2. 仏教の教えを広めるための儀式用具

3. 巨大な古墳を築造するための土木用具

4. 定期市で品物を交換するための貨幣
- 問4 「漢書」地理志や「魏志」倭人伝などの中国の歴史書には、倭の女王である卑弥呼や、それ以前の倭の小国の王が、中国の皇帝に使者を送ったことが記されています。このような古代の日中外交において、日本の支配者が中国の皇帝から称号を授かるようとした主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
1. 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。

2. 中国の皇帝から直接的に領土を譲り受け、日本列島を中国の行政区画の一部として統治するため。

3. 中国国内でのキリスト教の布教を許可してもらい、宗教的な指導者としての地位を確立するため。

4. 中国の皇帝と対等な立場で軍事同盟を結び、高句麗や新羅を共同で攻撃するための約束を取り付けるため。
- 問5 弥生時代の遺跡から発掘された人骨の中には、石の鏃（やじり）が刺さっていたり、鋭利な刃物によるものと思われる殺傷跡が残っていたりするものが多数見つかっています。このような人骨の発見から、当時の社会状況について推測されることとして最も適切なものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
1. 水田稲作の普及にともない、土地や水をめぐる集落間の争い（戦い）が激しくなったこと

2. 狩猟や採集を中心とする生活の中で、獲物を奪い合うための小規模な小競り合いが増えたこと

3. 青銅器である銅鐸や銅鏡を、死者の権威を示すための副葬品として埋葬し始めたこと

4. 古墳と呼ばれる巨大な墓を造るために、強制的な労働によって多くの犠牲者が出たこと
- 問6 『魏志』倭人伝などの中国の歴史書に記述が見られ、3世紀ごろに争乱が続いていた倭国を治めるため、邪馬台国の女王として共立された人物は誰か。（2016年 北海道公立入試 類似）
1. 推古天皇

2. 持統天皇

3. 卑弥呼

4. 神功皇后
- 問7 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）
1. 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため

2. 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため

3. 魏の強力な軍勢力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため

4. 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため
- 問8 弥生時代、大陸から金属器が伝わったことで人々の生活は大きく変化しましたが、当時の「青銅器」の主な用途と代表的な道具の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 食料を保存・調理するための容器として用いられ、須恵器などが作られた。

2. 鋭利な刃物として戦闘に用いられ、剣や矛などの武器の主流となった。

3. 祭祀や儀式のための道具として用いられ、銅鐸や銅鏡などが作られた。

4. 頑丈な農具として開墾に用いられ、すきや鍬（くわ）の先などが作られた。
- 問9 弥生時代の高床（式）倉庫において、柱と床が接する部分に「ネズミ返し」と呼ばれる板状の部材が取り付けられた理由として、当時の社会背景を踏まえた説明はどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）
1. 定住生活が始まったことで、家畜として飼育し始めた動物が建物内に入り込むのを防ぐ必要があったから。

2. 稲作の開始によって収穫した食料を蓄えるようになったため、その貯蔵分を害獣から保護する必要があったから。

3. 大陸から新たな建築技術が伝来し、建物の耐震性を高めて大規模な集落の崩壊を防ぐ必要があったから。

4. 集落間の争いが激しくなったため、床下に敵が潜り込んで火を放つことを防ぐ防御壁が必要だったから。
- 問10 1世紀頃の東アジアにおいて、中国の皇帝が周辺国の支配者に対して「みつぎ物」の見返りとして「称号」や「印」などを与える国際秩序がありました。倭の王が中国へ使いを送った歴史的背景や目的として最も適切な説明はどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。

2. 中国と対等な立場で外交関係を築き、軍事的な同盟を結ぶことで領土を拡大しようとした。

3. 仏教などの新しい宗教を中国から正式に導入し、国を治めるための思想として活用しようとした。

4. 朝鮮半島北部の小国として、中国の強力な武力による直接支配から逃れるための許可を求めた。
- 問11 佐賀県に位置する吉野ヶ里遺跡は、周囲を深い堀や土壁で囲んだ大規模な環濠集落である。このような集落が造られた当時の社会背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
1. ナウマン象などの大型の獲物を効率よく捕獲するための罠として、村の周囲に深い溝を掘る必要があった。

2. 氷河期が終わり海面の上昇が激しくなったため、集落が水没しないよう高い防波堤を築く必要があった。

3. 稲作によって収穫物の蓄えや土地・水をめぐる争いが集落間で発生したため、外敵から守る必要があった。

4. 大陸から仏教が伝来し、その寺院を保護するために宗教的な儀礼として堀を巡らせる必要があった。
- 問12 弥生時代の遺跡から見つかる、はしごを使って出入りする形式の建築物について、この建物が普及した背景として最もふさわしい歴史的な出来事はどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 大陸から本格的な稲作の技術が伝わり、収穫した稲を長期間保存する「貯蔵」の必要性が生まれたこと。

2. 仏教が伝来し、寺院の建築様式として床を高く作る技術が大陸から導入されたこと。

3. 気候の寒冷化が進んだため、人々が地面の冷気から逃れるために生活拠点を高い場所へ移したこと。

4. 大規模な戦争が絶えなかったため、敵を見張りやすくするために全ての建物を高く作ったこと。